

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ
二次交通改善活動プラットフォーム第1回会議
議事要旨（概要版）

1. 日 時：令和4年7月22日（金）14:30～16:30

2. 場 所：鳥取空港国際線ターミナルビル 2F 出国待合室

3. 議事概要：

(1)開会挨拶、趣旨説明、構成メンバー紹介

- ・ 座長として鳥取大学谷本教授を事務局より推薦、承認を得た。
- ・ ANA ホールディングス(株)から自社 MaaS の取組説明があった。MaaS 参画事業者を増やしたりシステム拡張を考えており、本プラットフォーム活動への積極的な協力の意向が確認された。

(2)意見交換

①アンケート調査

- ・ 利用者の声として鳥取砂丘までの直通の移動手段がないため、諦めるといった意見も聞く。時間を気にせず移動できる車利用者と比較し、空港二次交通利用者が出張の空き時間などで、行きたくても行けない（行けなかった）という声を拾ってほしい。
- ・ 携帯 GPS データとアンケートを活用し、計画性を持った人の行動と隙間時間についての意見などを把握してほしい。

②ワーケーション施設

- ・ 県内にワーケーション施設が立地している。空港利用者アンケートと連携し、可能であれば調査対象として加えてほしい。

③鳥取空港周辺の路線バス

- ・ 空港連絡バスのほか、賀露循環を運行している。路線バスの定時性確保の特性から空港経由の路線調整は難しいが今後考えていきたい。過年度に空港、かっこ館、鳥取砂丘を結ぶバスの社会実験を実施したことがあり、この路線を見直しながら考えていけたら良い。

④支払い方法統合化、電子決済

- ・ 現状キャッシュレスや電子化は進んでいないため、アンケートにおいて電子決済の導入に際する課題も明らかにしていただきたい。
- ・ 本プラットフォームでの取組を機に電子決済を進めていただきたい。

⑤隙間時間

- ・ 航空便間の隙間時間をどのように過ごすのが課題である。ワーケーション施設の利用実

- 態等も踏まえ、隙間時間の過ごし方をポイントにアンケートを実施してはどうか。JR 西日本エリアでは駅にテレワークボックスの設置を進めており、参考にしていきたい。
- ・空港の地元利用、活性化も期待でき、出口戦略3に近づく大事な視点である。

⑥アンケート調査、駐車場有料化

- ・飛行機の利用者について、①鳥取空港から飛行機を利用する方、②来訪者のうちビジネス客、③来訪者のうち観光客、の3つでニーズや動き方が違うと思う。特に既存のデータとして、二次交通がない中の実態について、来訪者のニーズや行動を聞いてほしい。
- ・駐車場の有料化について、空港に簡単に来ることができるというメリットをあえて捨てるのはもったいないと考える。利用者の属性によってアプローチが違うと考えるので、今回の調査で把握する必要がある。

⑦タクシー、レンタカー

- ・タクシーやレンタカーについては、アプリなどに活用することで可能性がある。
- ・空港はスーツケースを持っている人が多く、バスよりタクシーを使いたいと思う誘因が多く場所であり、情報提供など充実するべきである。
- ・レンタカーの方向性として、無人化の流れがあるが、導入状況は各社異なり、時間がかかる状況である。

⑧プラットフォームの進め方、情報発信

- ・アンケート調査やビッグデータで問題点や課題がわかると思うが、どのような方向性で使うか、どう克服するかをはっきりすべきである。方向性は素晴らしいと思うが、絵に描いた餅にならないか、心配である。鉄道会社とバス会社の接続など、日常的なネックをひとつひとつ解決し、進めていただきたい。
- ・台湾からの訪問客は飛行機内で検索した情報から行先やルート等の行程を決めているが、検索時の広告は北陸や南紀が多く、山陰はない。コロナ禍収束後に若い人や外国の方にフィットするような情報を提供するような仕組みを構築する考えはあるか。そうした将来の方向性を考えないと他地域に遅れを取ってしまう。
- ・前述の内容が、会議の目指すべき方向性となる。これまで上手くいっていないということに対して、出口戦略1の「情報」で解決しないといけない。
- ・なぜ鳥取でできないか、というところをできるようにする、むしろ先進的なものを目指していければと思う。

以 上

第1回会議 開催風景



